

## 藤枝市・恵庭市農商工連携広域ネットワークについて

### 1. 現状

#### (1) 通販サイト運営管理事業

藤枝市・恵庭市の事業者連携商品及び、両市内の農商工連携商品（市内の原材料等を使用した商品）を掲載・販売するネットショップを運営し、商品のPR及び販路拡大を図る。また、アクセス数増加を図るための施策を研究・試行するほか、購入率向上に向けた送料無料キャンペーンを実施したこともある。

○開設：平成28年3月6日

○掲載商品数：99商品（連携商品17、恵庭市商品34、藤枝市商品48）（※令和5年3月31日現在）

○売上金額：令和2年度 224千円、令和3年度 302千円、  
令和4年度 224千円、令和5年度 205千円（4月～1月）

○特徴：両市の自慢の一品や、こだわりの原材料を使用した連携商品を販売。  
自宅にいても両市自慢の一品を楽しむことができる。

#### (2) 連携商品等販売支援事業

アンテナショップ等へのイベント出店により、ネットショップ「藤の恵」とその掲載商品のPR及び販売により、ネットショップ掲載商品を始めた両市の加工品等の販売促進を図る。

#### (3) 商品開発補助金

両市の生産者・事業者の連携による商品開発を推進するため、他方の市の農畜産物を使用した商品を開発する事業者に補助金を交付し、商品開発を支援する。

・補助額等：（補助率）1/2

（上限額）個包装商品：50万円、個包装以外の商品：25万円

#### (4) ネットワーク運営委員会

予算、事業計画等について、運営委員会を開催する。

### 2. 通販サイト運営管理事業について

平成27年度のサイト開設から現在までの間、コロナ禍に伴う巣ごもり需要等を背景にEC市場は急速に成長し、民間の調査によると、店舗数は令和元年に270万店舗であったものが、令和5年には455万店舗と飛躍的に増加した。加えて、ふるさと納税やクラウドファンディングなど民間の創意工夫により、EC事業の深化・高度化が進んでいる。市場が成長する一方で、消費者の選択肢が増えたことから、「広告」や「割引」などの予算を掛けたプロモーションを実施しない場合は、数多あるサイトに埋もれてしまうなど競争が激化している。

さらに、昨今の人材不足に伴う人件費の高騰を受けて、「藤の恵」の次年度運営事業費については、現行から2倍以上の金額を求められており、費用対効果の観点からも事業の継続が難しい状況となっている。

藤枝市・恵庭市農商工連携広域ネットワークにて運営するネットショップ「藤の恵」は、開設から7年を経過し、行政が担うべき一定の役割を果たしたことから、令和5年度をもって閉鎖する。

今後は、両市の地元情報誌やイベント出展、観光案内所等を活用しながら連携の取組及び商品のPR継続・強化を図る。両市連携プロジェクト事業「藤の恵ブランド」は、これまで築いてきた両市の産業交流をさらに充実させるとともに、両市の農畜産資源を活用した商品開発及びPR、消費拡大を強化・推進する。

### **3.代替事業について（案）**

#### **（1）連携商品開発推進事業**

- ・両市で生産された農畜産資源を活用した新商品創出に向けた研究、開発等に取り組む事業者に対し、試作用の材料費等の支援を行う。

※令和3年度試行的に実施（恵庭市内の事業者2件活用実績あり）

#### **（2）連携商品販売支援事業**

- ・地元情報誌に広域連携の取組やPRイベントを紹介する広告の掲載
- ・地域を代表する各種イベントでの販売・PR
- ・観光案内所及びアンテナショップでの販売・PR
- ・引き続きEC市場での販売を希望する事業者に対しては民間サイトの紹介や自社サイト開設の支援を行うなど販路継続に努める。